

## 資料4

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に係る津市の取組について



令和2年度

# 津市の高齢者フレイル対策の 取り組み方針



令和2年1月8日

# フレイルとは

フレイルとは、加齢に伴う筋力や身体活動などの低下による要介護状態に至る前段階のこと

健康な状態に回復する可能性が  
高く可逆性がある

健康な状態



フレイル(虚弱)



介護が  
必要な状態

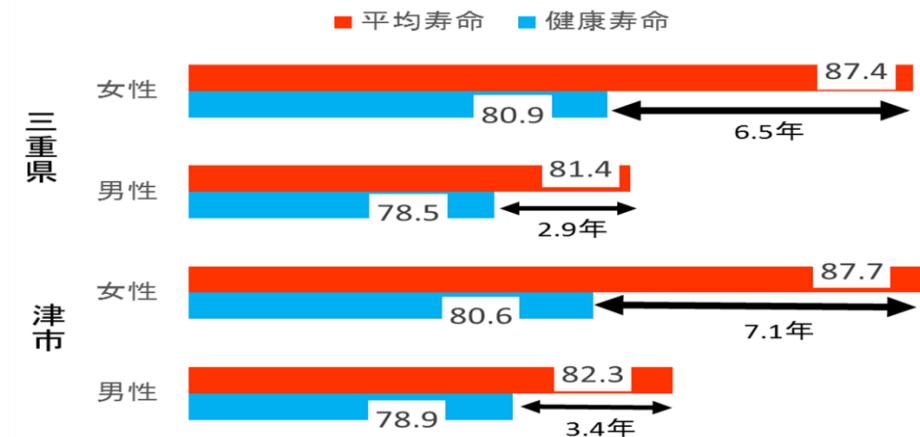
フレイルの兆しに早く気づくための  
意識改革が重要！

- ・食欲がない
- ・筋力の低下
- ・多くの病気を抱えて  
いる

- ・閉じこもり、孤食
- ・転びやすい
- ・硬いものが噛みにくく

健康寿命<sup>\*</sup>を延ばすためにもフレイル対策が必要

※ 平均寿命から介護が必要な状態の期間を差し引いた期間



資料：Chiang法による平均寿命とSullivan法による健康寿命（平成29年）

# 津市の先行的なフレイル対策

## 津市の取り組み

### 後期高齢者の低栄養防止・重症化予防を目的とした栄養パトロールを実施

- 三重県高齢者医療制度特別対策補助金を活用し、モデル事業として平成27年度から平成29年度までの3年間で、美杉地域を中心に、「栄養パトロール事業」を実施
- 個別栄養支援(訪問、通いの場)や地域栄養ケア会議などで、地域住民の栄養課題の解決に取り組み、高齢者の低栄養防止・重症化予防(フレイル予防)を推進

この津市の栄養パトロール事業が、国が考える保健事業と介護予防の一体的実施の先行事例に合致

平成30年9月 津市長(全国市長会副会長)が「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に関する有識者会議」の構成員となった



有識者会議では、生活習慣病予防・フレイル対策を進めるため、介護保険制度の「通いの場」を活用し、高齢者が保健師等による保健指導を受けられる体制を検討

平成30年12月 有識者会議としての報告書が示され、その結果、高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドラインの改訂に生かされた

# 保健事業と介護予防の一体的実施に向けた国の動き

医療保険での保健事業と介護保険での介護予防事業が別々に対策を展開

団塊の世代が75歳以上となる2025年には、  
介護・医療費などの社会保障費が増大する恐れ！

生活習慣病対策中心の保健事業  
(被用者保険・国保)

後期高齢者の保健事業  
(広域連合)

介護予防  
(市町村)

高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施する必要性

●令和元年5月22日

高齢者の医療の確保に関する法律、国民健康保険法及び介護保険法が改正され、75歳以上の高齢者に対する保健事業を市町村が介護保険の地域支援事業等と一体的に実施することができるよう、国、広域連合、市町村の役割等が盛り込まれた

●令和元年10月16日

「高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン」が改定され、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に向けたプログラムが盛り込まれ、高齢者のフレイル等の心身の多様な課題に対応していくこととされた

# 保健事業と介護予防の現状と課題(イメージ)

## 医療保険

退職等

被用者保険の保健事業  
(健康保険、協会けんぽ)

- ◆特定健診・特定保健指導
- ◆糖尿病対策

国民健康保険の  
保健事業(市町村)

- ◆特定健診・特定保健指導
- ◆糖尿病性腎症重症化予防

75歳

後期高齢者広域連合の  
保健事業(広域連合)

- ◆健康診査

国保と後期高齢者の保健事業の接続の必要性  
(現状は75歳で断絶)

フレイル状態に着目した疾病予防の取り組み  
の必要性(運動、口腔、栄養、社会参加等の  
アプローチ)

保健事業と介護予防の一体的な実施  
(データ分析、事業のコーディネート等)

65歳

介護保険の介護予防事業・日常生活支援総合事業等  
(市町村)

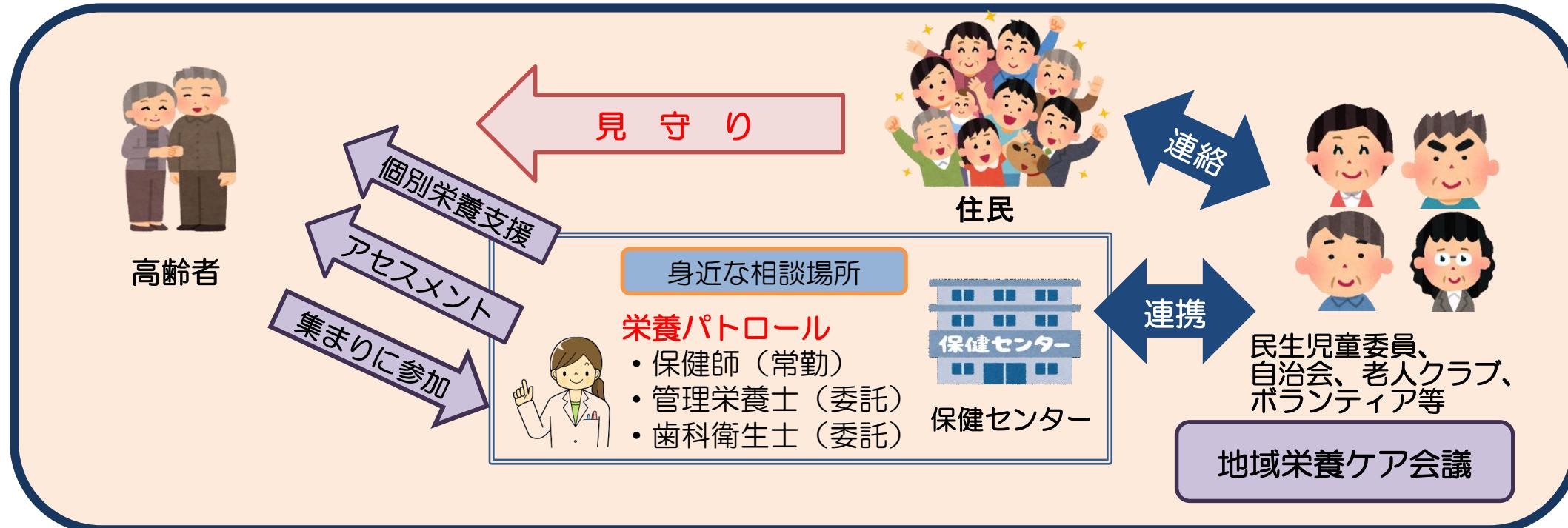
- ◆一般介護予防事業
- ◆介護予防・生活支援サービス事業

保健事業との連携による支援メニューの充実の必要性

## 介護保険

# 平成27年度～29年度 美杉地域の取り組み①

美杉地域の住民の繋がりを生かし、高齢者に関わる様々な機関やそこに住む住民のみなさんと連携して、個別栄養支援(巡回栄養相談・訪問指導)や地域栄養ケア会議を通して、美杉地域でフレイル対策に取り組みました



<b>H27年度 総事業費</b> (後期高齢者医療広域連合補助金	812,650円
2,126,713円)	812,650円)
<b>H28年度 総事業費</b> (後期高齢者医療広域連合補助金	2,684,244円
2,126,713円)	2,126,713円)
<b>H29年度 総事業費</b> (後期高齢者医療広域連合補助金	2,591,991円
1,814,394円)	1,814,394円)

# 平成27年度～29年度 美杉地域の取り組み②

年度	個別栄養支援		地域栄養 ケア会議		男の健康料理 教室 男の健康体操 教室	
	75歳未 満(人)	75歳 以上(人)	回数	のべ 人数	回数	のべ 人数
27	10	30	3	53	-	-
28	26	94	1	18	3	54
29	61	127	-		3	60
					3	60
				健康体操教室	11	80



個別栄養支援



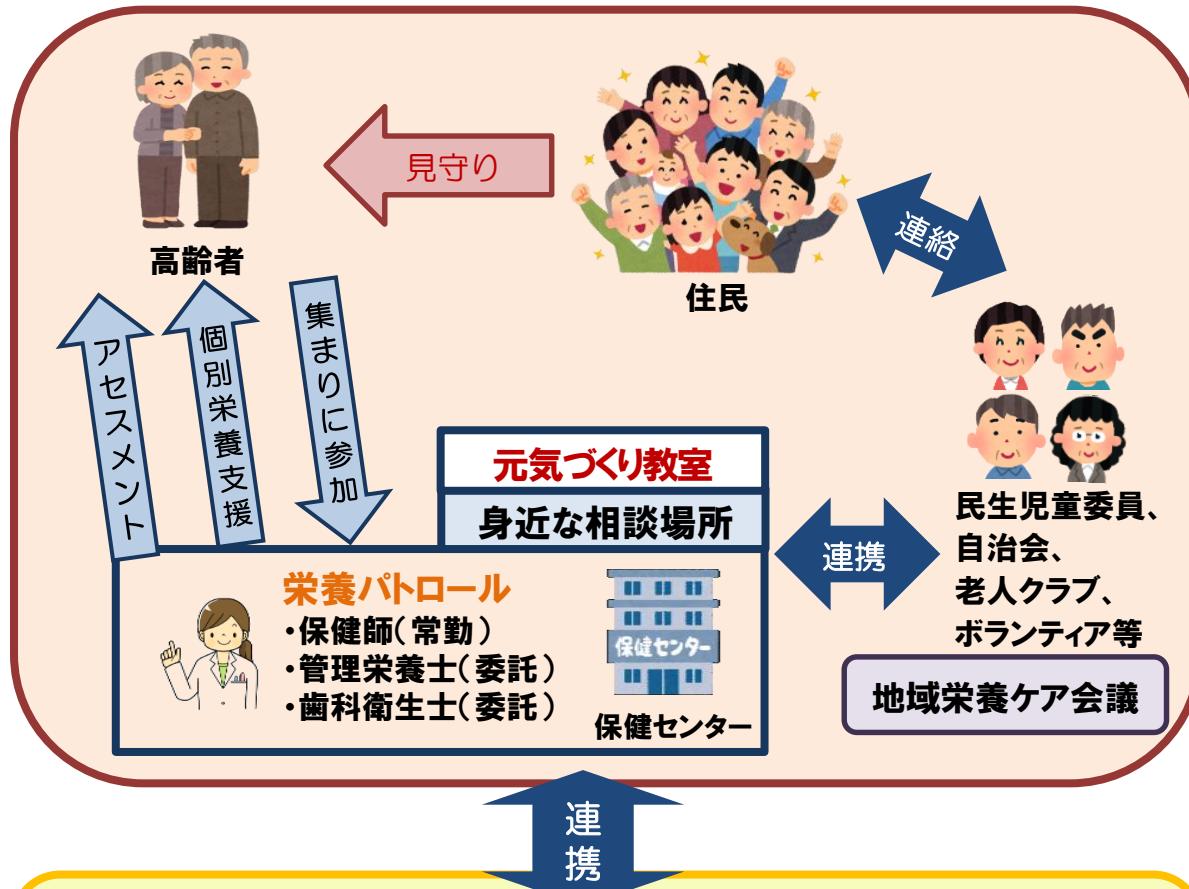
男の健康料理教室



地域栄養ケア会議

# 平成30年度の取り組み

平成27年度から29年度まで美杉地域で実施してきた栄養パトロール事業を、元気づくり教室(出前講座)のプログラムメニューに取り入れ、美杉地域以外にも拡大して実施



	美杉地域	美杉地域以外	計
<b>個別栄養支援</b>			
元気づくり教室	11回	50回	61回
集団健康教育	21回	5回	26回
訪問	55人	51人	106人
<b>地域栄養ケア支援</b>			
地域栄養ケア会議	1回	—	1回
男の健康料理教室	3回	—	3回
健康体操教室	9回	—	9回
<b>人材育成研修</b>			
地域見守り研修会	1回	—	1回
専門職向け研修会	2回	—	2回

津市健康づくり事業で実施 総事業費 997, 864円

# 令和元年度の取り組み(先行的実施)



美杉地域の栄養パトロールや元気づくり教室での取り組みのほか

KDBシステム※を活用して、市街地でモデル的に低栄養・フレイル予防事業を実施中

※ KDBシステムとは、国保データベースシステムのこと。健診や医療・介護のレセプト情報を保有し、様々な観点から比較・分析できるシステム

## KDBシステムの活用

フレイルリスクの高い  
人への個別支援  
(ハイリスクアプローチ)



フレイル  
予防教室  
(低栄養・フレイル  
チェック、講話等)

家庭訪問

(低栄養・フレイル予防のため  
の継続支援)

フレイル  
予防教室  
(低栄養・フレイルチェック、  
変化の確認等)

医療専門職(保健師・管理栄養士・歯科衛生士)による支援

選定した地域のサロンや  
元気づくり教室の  
参加者への支援  
(ポピュレーションアプローチ)

サロン等の  
集まりの場  
(低栄養・フレイル  
チェック、講話等)

サロンでの声かけ

個別支援

サロン等の  
集まりの場  
(低栄養・フレイルチェック、  
変化の確認等)



## 津市モデルの構築

## 事業計画

- 新町地区の該当者に対して、フレイル予防教室 事前と事後の2回、該当者1人当たり複数の専門職が3回程度訪問し支援(ハイリスクアプローチ)
- 新町地区の2つのサロン及び津市全域の元気づくり教室(90回程度)で管理栄養士、歯科衛生士、保健師が健康相談・健康教育を実施。その中で支援の必要な人に対して個別支援(ポピュレーションアプローチ)
- 医療専門職の人材育成研修(1回)

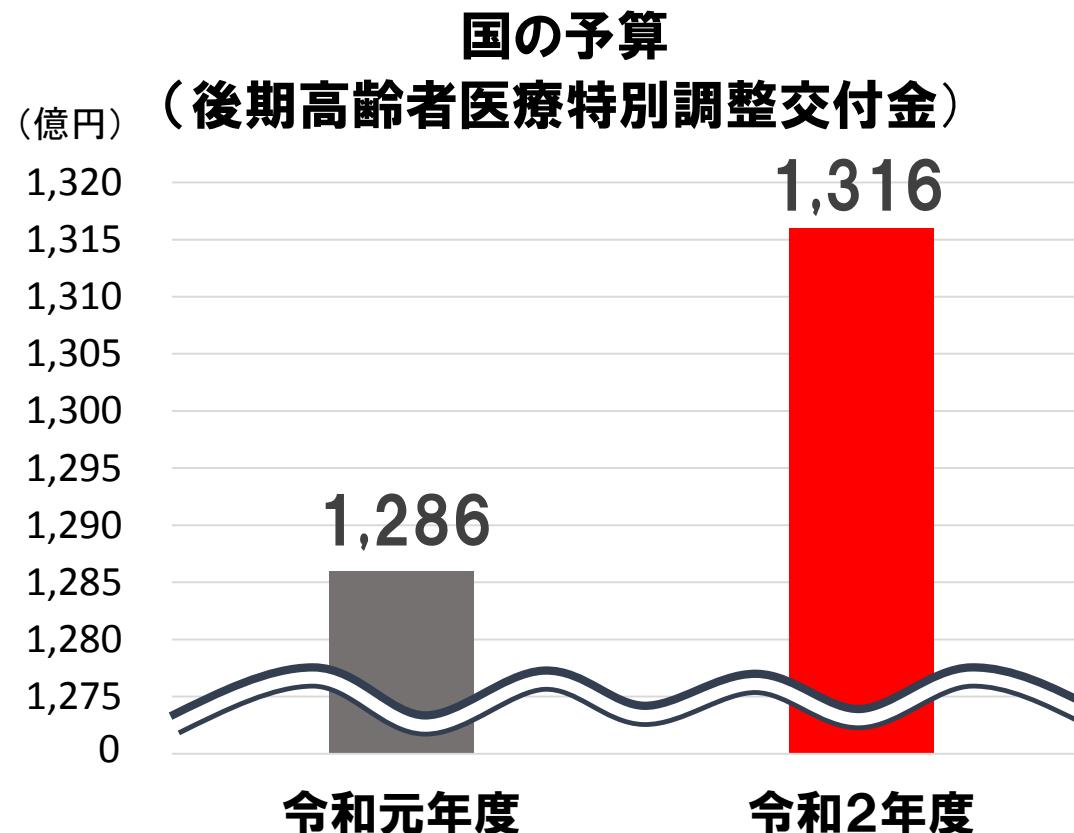
総事業費

(後期高齢者医療制度事業補助金 2,411,000円)

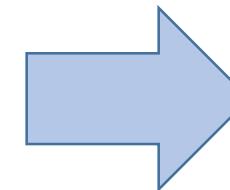
2,633,000円

# 令和2年度 国の予算の状況

一体的実施を含む健康寿命の延伸に向けた予防・健康づくりについて  
国から広域連合に対して特別調整交付金が交付される



都道府県の  
広域連合に  
交付



三重県後期高齢者  
医療広域連合

事 業 の  
委 託

交付金10/10  
国2/3  
広域連合1/3

津 市

広域連合からの予算を獲得し、本市の一体的実施に係る事業に取り組みます

# 令和2年度の取り組み方針①

## 【目標】

津市の健康寿命を延ばし、  
平均寿命との差を縮めます

中山間地栄養パトロール  
平成27年度～29年度

元気づくり教室やサロンでの栄養パトロール  
平成30年度

市街地モデル  
令和元年度

令和2年度から  
本格的にスタート

## 効果的な実施に向けての4本柱

### 普及啓発

フレイルを知っている人を増やします

- 講演会
- 元気づくり教室などのポピュレーションアプローチ

### 推進体制の整備

庁内の連携を進めます

- 事業の推進役を担う医療専門職を配置
- 健康課題を庁内で共有し、既存事業に反映

### 支援体制の構築

医療関係団体等と連携します

- 医療関係団体等と地域の健康課題を共有し、事業を推進
- 関連組織や団体との連携

### 健康課題の見える化

KDBシステムを活用します

- 個々のデータの状況把握・分析を行い、ハイリスクアプローチの対象者を抽出
- 地域の健康課題を市民に分かりやすく提示
- 適切な情報管理

# 令和2年度の取り組み方針②

## 推進体制の整備

### 【保険医療助成課】

後期高齢者医療広域連合と連携し、保健事業を実施  
KDBシステム等を活用

### 【地域包括ケア推進室】

身近にできる介護予防とサロン活動や生活支援コーディネーターの活動を通じて地域の支え合い活動を推進

### 【健康づくり課】

健康課題の分析に応じて、通いの場に出向くポピュレーションアプローチ、訪問等によるハイリスクアプローチを実施

高齢者の保健事業と  
介護予防の一体的に  
実施に向けて連携

### 【介護保険課】

介護保険の利用状況などのデータの提供と分析

# 令和2年度の取組方針③

事業の企画・調整を担当する保健師を配置し、地域を担当する医療専門職と連携

## 企画・調整等を担当する 医療専門職(保健師)の役割

事業全体の企画・調整、庁内の関係者間の連絡調整、進捗状況の共有

KDBシステムを活用した地域の健康課題の分析、対象者の把握、事業評価

医療関係団体等との連絡調整、ネットワークの構築

医療専門職の人材育成

連携

## 地域を担当する医療専門職(保健師、管理栄養士、歯科衛生士)の役割

ハイリスクアプローチ  
(対象となる人を健診結果から抽出)

ポピュレーションアプローチ



①栄養パトロール  
訪問等で個別継続支援  
(津市全域対象)

②糖尿病性腎症重症化予防  
事業参加者の継続支援  
(75歳対象)

①地域の集まりの場へ出向き  
フレイルチェック・啓発  
・元氣づくり教室  
(津市全域対象)

・栄養パトロール  
(重点啓発地区のサロン対象)  
②フレイル予防講演会(1か所)

# 今後の展開イメージ

## KDBシステム(健診、医療、介護データ)の集積



地域の健康課題分析  
重点地域の設定

ハイリスク者の抽出

津市と連携  
津市へ委託  
経費は広域連合が  
交付

三重県後期高齢者  
医療広域連合

企画・調整  
医療専門職  
保健医療助成課  
健康づくり課  
介護保険課  
地域包括ケア推進室

※保健師等が集まりの  
場へ出向き、栄養パト  
ロールチェック、フレイル  
予防・生活習慣病予防を  
一體的に実施

地域の集まりの場  
サロン、元気づくり教室

※保健師等とは、保健師、  
管理栄養士、歯科衛生士  
の医療専門職のこと

## ネットワークの構築

在宅高齢者

自宅へ訪問

受診

医療の提供、  
健診受診を勧める

地域ぐるみで後期高齢者健診  
受診率向上を目指す！  
H30年度35.4% ⇒ 目標40.7%  
(県平均)



診療所・病院

歯科医院

薬局

事業内容全体への助言  
健診の受診勧奨  
集まりの場への参加勧奨

住民  
民生児童委員  
自治会、老人クラブ  
ボランティア等

声掛け、見守り

社会福祉協議会

健診の受診勧奨  
集まりの場への参加勧奨

健診の受診勧奨  
集まりの場への参加勧奨

地域ぐるみで健康寿命を延ばす取り組みを進めています